



2025年5月20日

各 位

会 社 名 U B E 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 西 田 祐 樹  
( コ ー ド 4 2 0 8 東 証 プ ラ イ ム 市 場 )  
問 合 せ 先 コ ー ポ レ ー ト コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 部 長 堀 江 周 子  
( T E L . 0 3 - 5 4 1 9 - 6 1 1 0 )

## U B E グループ新中期経営計画 「UBE Vision 2030 Transformation -2nd Stage-」について

当社グループは、「UBE Vision 2030 Transformation～1st Stage～」に続く中期経営計画として、2025年度から2030年度までの6カ年を対象とする新中期経営計画「UBE Vision 2030 Transformation -2nd Stage-」を策定しましたので、その概要をお知らせします。

当社グループは、2030年に向けて「スペシャリティ化学企業」へ進化するとともに、これを実現するための行動計画を着実に実行していきます。

### ◆2030年の目指す姿

「地球環境と人々の健康、そして豊かな未来社会に貢献するスペシャリティ化学企業」

#### －創業の精神

「共存同栄」「有限の鉱業から無限の工業へ」

#### －パーパス（存在意義）

「希望ある化学で、難題を打ち破る。」

#### 変革スローガン

「未解決な未来に挑もう。」

#### －経営理念

「技術の探求と革新の心で、未来につながる価値を創出し、社会の発展に貢献します。」

### ◆中期経営計画の数値計画

2030年度計画 : 売上高 5,500億円、営業利益 600億円、ROE 9%

2035～40年度目標 : 売上高 1兆円、営業利益 1,000億円、ROE 10%以上

## ◆中期経営計画の行動計画

2030年の目指す姿を実現するため、パーパス・経営理念、社会課題に対する影響度を踏まえて、次の5つをマテリアリティ(重要課題)として設定しました。これらの課題に対して、DXの推進等により迅速かつ効果的に様々な施策を展開していきます。

<UBEグループのマテリアリティ>

- ① スペシャリティ事業の拡大
- ② 多様な人財の活躍
- ③ 労働安全・保安防災
- ④ 地球環境問題への対応
- ⑤ 誠実で公正な企業統治

- ① スペシャリティ事業の拡大：ポリイミド、分離膜、セラミックス、C1ケミカル等既存スペシャリティ事業の成長に加え、買収したウレタンシステムズ事業を確実に統合することで、グローバルに、かつシナジー創出により収益を拡大します。

自社技術開発による新事業立上げと、既存スペシャリティ事業の周辺やスタートアップ企業へのM&A等による新事業領域でのコアコンピタンス獲得を両輪として、新たなスペシャリティ事業を創出します。研究開発機能を再編・統合するとともに売上高に対する研究開発費率を大幅に引き上げます。

さらに、2025年1月28日に公表した、アンモニア、カプロラクタム、ナイロンポリマー等の生産撤退・縮小を着実に実行するとともに、機械事業及びセメント関連事業については自立化の最終ステージとして株式上場を進めることで、スペシャリティ化学企業へポートフォリオを転換します。

また、日本・アジア・欧州の従来の3極に加え、新たに米州拠点を整備し4極体制を構築します。各拠点は、新規事業のグローバル展開やグローバル企業(事業)の買収等についても円滑に進めることができるよう、マネジメント体制(資本、指揮命令、人財、バックオフィス等)を強化します。

- ② 多様な人財の活躍：スペシャリティ事業をグローバルに展開するため、経験・知識・能力等多様な人財を広く採用するとともに、既存の人財と一体となって活躍できる人事制度を構築します。また、全ての人財に活躍する場を提供するなどワークエンゲージメントの改善を通じ、働く人々のウェルビーイングの向上を図ります。これらを通じて、技術革新のパートナーとして自ら仕掛け、顧客をドアノックしていく社風を醸成します。
- ③ 労働安全・保安防災：ものづくりの会社の責務として、従業員が健康で働きやすい職場環境を確保するとともに、安全・安心な設備で安定操業を継続します。
- ④ 地球環境問題への対応：これまで注力してきた地球温暖化問題(カーボンニュートラル)に加えて、サーキュラーエコノミー、ネイチャーポジティブの3つの課題に取り組みます。GHG排出量に関しては、2030年度50%削減、2035年度70%削減(何れも対2013年度比)の達成を目指します。
- ⑤ 誠実で公正な企業統治：取締役会の実効性の一層の向上に努めるとともに、コンプライアンス確保やリスクマネジメント等内部統制を強化します。

スペシャリティ事業の拡大に必要な資金を確保するため、利益・キャッシュフロー創出力と有利子負債のバランスを意識して適切な財務運営を継続し、健全な財務規律と市場からの信頼を維持します。また、UBEグループ内にROIC経営を浸透・徹底し資本効率を向上させます。

さらに、企業活動全体を網羅的に、顧客/社会価値連鎖をデジタルの力で連携させ、ビジネススタイルを変革します。

◆株主還元

安定配当を基本方針とし、DOE（株主資本配当率）を2.5%以上と設定します。中期経営計画の進捗状況を見極めたうえで、後半3ヵ年にはDOEの更なる引き上げを目指します。

以上